

ちょっと自慢の公民館活動

市町名	松山市	公民館等名	宮前公民館		
			地区館		
		連絡先 (Tel)	089-952-1068		
		ホームページ・SNS公式アカウント			
		http://www.matsuyama-people.jp/04/miyamae.html			
事業分野		事業名	宮前地区郷土芸能継承事業		
		趣旨 目的	郷土芸能の保存・継承と人材の育成		
		対象	小学生～大人	参加人数	40名
<p>〈事業内容〉</p> <p>1 概要</p> <p>宮前地区に古くから伝わる郷土芸能である文楽「伊予源之丞」と「虎舞」に対し、その保存と継承を目的とした補助及び事業を行っています。</p> <p>各保存会は、月2回程度公民館を利用して練習を行い、その成果を文化祭や地域の伝統的な行事の席、あるいは様々な芸能発表の場において披露しています。</p> <p>・文楽「伊予源之丞」(伊予源之丞保存会)</p> <p>明治の初め、三津新町で荒物屋を営んでいた宝来屋新造が、「宝来座」という一座を組織し三津の三穂神社で人形芝居を始めたのがこの座の起源です。</p> <p>明治20年以降、大型頭の淡路人形を導入し、県内各地のほか、九州、朝鮮、上海まで巡業の足を伸ばしましたが、大正12年の朝鮮巡業に失敗して一時解散状況に追い込まれました。しかし、有志によって再興され、昭和10年に、現在の「伊予源之丞」に改称しました。</p> <p>・「虎舞」(古三津虎舞保存会)</p> <p>獅子舞の獅子頭のかわりに虎の頭を使う、全国的にも珍しい芸能で、現在では全国49団体で伝承されており、県内では唯一のものです。</p> <p>起源は松山城主加藤嘉明が豊臣秀吉の朝鮮出兵に従軍した際、嘉明の軍勢が苦戦する加藤清正を助けた時に、兵士が虎に食べられたため、虎狩りをしたことが由来とされ、その様子を表したものです。</p>					
					
		【文楽「伊予源之丞」】	【虎舞】		